

## これからの「幼児教育」施設と小学校との円滑な接続に向けて —北陸地区の幼小接続の取り組みを中心に—

幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び小学校学習指導要領の改訂、ならびに保育所保育指針の改定に伴って、これまで以上に幼児教育施設と小学校との円滑な接続が求められている。しかし、育てたい「資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」についての共通理解が不十分であったり、小学校におけるスタートカリキュラムの編成が進んでいなかったりすることもあり、接続のあり方についての模索が続いている。文部科学省でも2022年度からの「幼保小の架け橋プログラム」開発を検討している。

そこで今回は、福井県の事例を中心に北陸地区における幼小接続の実践を紹介する。話題提供を踏まえて、幼小接続の進め方について参加者相互の活発な情報交換と議論が行われることを期待している。

日時：2022年3月21日（月・祝）13-15時

場所：オンライン（zoom）

参加費無料

非会員参加可能

上限500名

登壇者 鯖江市立鯖江市北中山小学校・幼稚園

校長・園長 小田島範和

金沢大学学校教育学類 教授 滝口圭子

司会者 富山大学人間発達科学部 教授 小林 真

申込み方法：申込みは右のQRコードからお願い致します（申込み受付開始日は、2022年1月20日）。後日、詳細をお送り致します。  
zoomのアプリ等ご用意ください。

問い合わせ：日本保育学会中部地区 chubu.hoiku@gmail.com



<https://forms.gle/m5bygF7pCoZm8yHVA>